

EDU-Port ニッポン 令和8年度の進め方について（案）

【実施内容】

1. 日本型教育の海外展開官民協働プラットフォーム」の運営
 - 1) 事業の方針を決定するステアリングコミッティ及びその下に設置する幹事会を開催し、事業の実施方針、推進方策等を協議・検討する。
 - 2) 国際会議に付随するフェア・国際フォーラム、文科省主催行事等へのブース出展・発表等
 - 本事業で策定する国際教育プログラムにつき国際的な場で提唱することを通じ、その普及と日本型教育の国際的プレゼンス向上を図るためUNESCO Futures of Educationへの参加を検討する。（ブース出展、発表等）
 - 文科省が主催する在京各国大使館の教育・文化・スポーツ・科学担当アタッシェを対象とした交流会でブース出展する。
 - 3) EDU-Portシンポジウムを通じた成果の普及促進
 - 日本型教育の海外展開に関わる産官学民のステークホルダーが一堂に会し、当該年度の成果や今後の方向性を確認するとともに、その成果の普及を図る。EDU-Portニッポンプラットフォームメンバーが事業の情報を発信する場や、公募事業実施機関間の交流の場を設け、マッチングとネットワーキングを促進する。
 - 4) 個別相談及びマッチング
 - 海外展開を進めるEDU-Portニッポンプラットフォームメンバーやその他の機関からの個別相談及びマッチングに対応する。また、関心のある国・地域の教育ニーズや現地情勢、海外展開に活用可能な支援スキーム、連携先候補等に関する情報を提供する。
 - 5) 海外の教育関係者を対象とした日本国内の学校視察の実施及び専門家の派遣
 - 文科省と東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）が共催する懸賞事業SEAMEO-Japan ESD-Award優勝校の受入れ、及び在日大使館アタッシェ、国際機関や各国教育省関係者等を対象とした学校視察を実施する。
 - 日本の教育現場及び、日本型教育の海外展開を通じて蓄積された知見を共有することを目的とし、これまでの公募事業実施機関等から希望者を募り、SEAMEOが設置する地域センターとマッチした人材の派遣を支援。
 - 6) EDU-Portホームページ・メールマガジン等を通じた情報発信

- EDU-Portホームページとメールマガジンをプラットフォームの情報発信の中核とし、「プロジェクトニュース」「ニーズ・シーズ集」等を通じた情報発信を継続。

2. 国際教育プログラム「知・徳・体」(仮)の策定、認証評価の仕組み検討

- 「知・徳・体」に代表される日本型教育の持つ普遍的価値及び独自性についての整理と、非認知能力の向上等教育に関する国際的潮流・議論の整理を行う。
- 有識者によるワーキンググループを設置・開催する。そこでの議論を基盤としつつ、「知・徳・体」の考え方や実践を国際的な議論と照らし合わせながら整理・再構成し、コンセプトペーパーを作成の上、日本発の国際教育プログラムとして体系化する。

※2年目以降、広報物の作成・国際的な発信を通してパイロット事業を実施し、効果を検証する。また認証制度化に向けた検討を進める。

3. 調査研究の公募・採択・実施

- 対象国におけるニーズ、現状の教育課題等を具体的に調査し、日本の特色ある教育がどのように課題解決につながるかについて実践と検証を通して明らかにする事業者・機関等の取組を対象に公募を行う。

令和7年8月に横浜にて開催された第9回アフリカ開発会（TICAD9）に際し、アフリカ諸国との連携強化を図る一環として、文科省がガーナ教育省及びエジプト教育・技術教育省との間で意向表明書（LOI）を署名、両国との間で教育分野における協力関係を更に強化することを確認したことを踏まえ、対象国をガーナ及びエジプトとする。

4. 「EDU-Portニッポン応援プロジェクト」の公募・採択・実施

- 日本の特色ある教育をもとに培われた教育コンテンツ・手法・ノウハウなどを海外に展開する取組、及び海外で実施中の事業拡充を図る事業者・機関等の取組を対象に公募を行う。今年度は、「知・徳・体」を一体で育む全人的な日本型教育の特徴に基づく国際教育プログラムを策定予定のため、学力だけでは測れない非認知能力（協調性、主体性等）の育成等を取り入れた取組を歓迎することとする。
- 支援内容は、在外日本国大使館への協力依頼、現地機関との仲介支援（推薦レターの発行）、相談対応、日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）呼称・ロゴマークの利用許可 等

【令和8年度の主なスケジュール】

4 月下旬～5 月上旬	第 18 回ステアリングコミッティ開催（メール開催）
5 月上旬～6 月上旬	EDU-Port ニッポン応援プロジェクト、調査研究 公募実施
6 月中旬	第 1 回「知・徳・体」（仮）ワーキンググループ開催 以後、年度内に 2～3 回程度開催予定。
6 月下旬	EDU-Port ニッポン応援プロジェクト、調査研究 審査委員会開催
7 月上旬	EDU-Port ニッポン応援プロジェクト、調査研究 公募結果公表
6 月下旬～7 月上旬	幹事会開催（予定）
9 月～10 月	スクールビジット実施
11 月～12 月	・ UNESCO Futures of Education 参加（予定。日程未確定） ・ 第 19 回ステアリングコミッティ開催 ・ 幹事会開催（予定）
1 月以降	EDU-Port シンポジウム開催、在日各国大使館アタッシェとの交流会参加（予定）